

会 議 録 (要 旨)

					記録者：社会福祉推進G 佐伯 亮則	
決裁	部長	課長	課長補佐	主査・係長	グループ員	
件 名	令和4年度第1回龍ヶ崎市地域福祉計画推進委員会					
日 時	令和4年6月24日（金）午後1時30分から午後3時40分					
場 所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室					
主 催 者	市長					
出 席 者	<p>【委 員】 佐藤純子委員長、杉野美左子副委員長、振田美登、武田和芳、披田信一郎、松尾周子、清原久雄、椎名とも子、永野浩、小澤利幸、稲川めぐみ、青山しげ子、佐子川淳子、遠田康人</p> <p>【事務局】 (龍ヶ崎市) 萩原市長、岡田部長、藤ヶ崎課長、木村課長補佐、記録者 健幸長寿課：篠原補佐 (社会福祉協議会) 寺崎課長補佐、宮本主事</p>					
欠 席 者	松田清					
傍 聴 人	1名					
内 容	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 事 (1) 委員長及び副委員長の選任について (2) 龍ヶ崎市第2期地域福祉計画の進行管理について (3) 龍ヶ崎市第3期地域福祉計画（素案）について 4 その他 5 閉 会					
< 議 事 >						
事務局	委員長が選任されるまでは、萩原市長が議長を務めます。					
萩原市長	龍ヶ崎市地域福祉計画推進委員会条例第5条第1項の規定により、「委員の互選により選出する」となっております。まずは、委員長の選出にあたり、どなたかご推薦されたい方がいらっしゃいましたら、ご発言をお願いいたします。					
松尾委員	事務局案はありますか。					
事務局	それでは、学識経験者として流通経済大学からご推薦の佐藤委員はいかがでしょう か。					
萩原市長	ただいま、佐藤委員に委員長をという意見がありました。皆様いかがでしょうか。					
全委員	異議なし。					

萩原市長	<p>それでは、委員長は佐藤委員に決しました。</p> <p>これをもちまして、私の議長としての職務は終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
	(萩原市長退席)
佐藤委員長	<p>それでは、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>まず、議事(1)のうち副委員長の選出が残っています。私は今回初めて参加する会議で委員長を務めることとなりましたので、前の期間に副委員長だった杉野委員に引き続き副委員長をお願いしたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
佐藤委員長	<p>それでは、杉野委員に副委員長をお願いすることとします。</p> <p>続きまして、先ほど事務局から話がありました会議録署名人を私から指名したいと思います。本日の会議録署名人は披田委員と松尾委員をお願いしたいと思います。</p>
佐藤委員長	<p>では、議事に戻ります。議事(2)「令和3年度地域福祉計画の進行管理について」です。</p> <p>まずは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料に基づき説明)
佐藤委員長	ありがとうございました。この件について、ご質問はありますか。
松尾委員	フードドライブというのはどういう取組ですか。フードバンクとは違うのでしょうか。
事務局 (社会福祉協議会)	<p>フードドライブは、フードバンクとも呼ばれる取組です。市役所1階エレベーター脇にきずなBOXというドラム缶の形をした回収箱が置いてあります。市役所のほか、地域福祉会館、商店街の社協中央支所、それから元気サロン松葉館にも置いてあります。</p> <p>お米、缶詰、インスタント食品、レトルト食品などを集めておりまして、未開封で賞味期限まで2か月以上のものであればお受けしています。</p> <p>集まった食品は、牛久にありますフードバンクの団体に幾つか持って行ったりしながら、逆に必要なものを新たにもらってきています。それを困窮の方が相談に来たときにお渡ししています。</p> <p>一品でも二品でも受け付けをしておりますのでご協力いただきたいと思います。</p>
披田委員	<p>進め方ですが、事前質問の文章があって、ここに回答一覧ということでまとめているんですが、これは、読んでもらえば終わりという進行をするんですか。さまざまの方からさまざまなことが出ていますから、要点だけでも、読み上げて報告された方が豊かになると思うんですが、どういうやり方でやるんでしょうか。</p>
事務局 (市)	<p>当初は、この進行管理についても、この後の素案についても、たくさんご意見をいただくことになるだろうと思いましたが。限られた時間の中で進めるにあたっては、今回は回答をお読み取りいただく形で進めさせていただくこととしました。</p>
松尾委員	<p>初めて素案を見せていただいていますし、質問も事前に受けてくださっています。まずは事務局から説明してもらって、それに対して回答内容を読み取りながら進めて</p>

	もらえればいいのではないかと思います。事務局はどうしたいのでしょうか。
事務局 (市)	この後、次期計画の素案についての審議となります。一部内容が重複し、先取りしたようなものもございます。時間の制限もございますので、素案に関しては、後ほど一通りご説明した後で、一括してご質問を受けたいと思います。
披田委員	まず進行管理という議案があって、この次に第3期計画の素案があると。これはそれぞれ別のことだと思うので、区切ってやるべきでしょう。先ほど松尾委員からは、第3期計画の方が大事だからそっちに時間を割いて、進行管理はもうおしまいでいいでしょうという意見だと思うんですが、議案としては別なので、このほかに質問や意見があるのか問いかけをしていただいた方がいいと思います。それでいったんこちらを終わらせたうえで、次に移るということで、最低限のメリハリはつけてください。
事務局 (市)	ただいまのご指摘は、事前質問・回答に触れないで進行すると質問が重複するなど起こりうるため、読み上げて共有した方がよいというご指摘でしょうか。その場合、特にここは共有しておきたいというのがあればお聞きしたいと思います。
披田委員	あくまで進行のしかたについての確認をしたかった。要するに会議の時間配分です。本当は（進行管理と計画（素案）の）それぞれが重たい内容で、会議を分けてもいくらかいのものを盛り込んでいると思います。第3期計画の素案が出されたからということで、皆さんがよければ、そちらに進んで構いませんし、進行管理については今後の機会があるなら、とは思いますが、というそれだけのことです。 進行管理は各論について触れられていますので、計画の方は計画の作り方のことだろうし、テーマはわかれているということだけは留意してほしいです。
佐藤委員長	披田委員のおっしゃるとおり、2号議案の各論である進行管理についてもしっかりと議論する時間を設けるべきなんですけれど、3号議案の素案の方にもしっかりと時間を割いていきたいので、進行管理については別の機会に話し合いの時間が設けられればと思います。
佐藤委員長	以上でよろしいでしょうか。 それでは、(2)「龍ヶ崎市第2期地域福祉計画の進行管理について」は以上とします。 続きまして、(3)「龍ヶ崎市第3期地域福祉計画（素案）について」です。 事務局から、説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
佐藤委員長	ありがとうございました。 ただいま事務局から説明がありましたが、本件についてご質問はございますか。
松尾委員	以前に比べて、どこがどこまでやるのかというところが見えるようになってきたと思います。 ただ、関係課が横断的にやるということを出すのなら、進行管理シートの組み直しも考えながら、進めていただければ。 それから、専門用語が多すぎて、理解するのに言葉の意味をたくさん調べなければならなかった。わざわざ難しい言葉を使わないで、わかりやすい言葉を使っていた

	<p>きたい。主体が住民であるというのなら、専門的なことを知らない人にもわかるように書いていただければと思います。</p> <p>最後に、用語の統一をしていただきたい。41 ページ、区長とだけ書いてあるところと、自治会も含むところがある。表記の不統一なのか、対象が違うのかごちゃごちゃしていると感じました。</p>
事務局 (市)	<p>ご指摘を受け止め、今後書き直しをしていく中で気をつけていきたいと思います。</p>
披田委員	<p>成年後見制度の利用促進計画が組み込まれていることについてです。</p> <p>事前質問に対しては、一緒に作っている自治体が多いという回答ですが、私は薄い冊子になったとしても分けた方がいいという考えであり、なぜここに入れなければならないのかというのは疑問に思っています。</p> <p>成年後見制度って具体的にどういうものなのか、当事者になった場合もそうですが、なっていないときであったとしてもわかりにくいんですね。なので、このような入れ方では不親切だと感じるんです。作らなければいけない行政計画で、このように組み込めば過不足ないんでしょうけど、であるならば余計に、地域福祉計画に組み込むことについて述べるべきだし、私は分けた方がはっきりすると思います。</p> <p>根本的な話として、この計画は行政計画だと理解しているけれども、地域も含め全体でやっていくんだ、行政がやらせるというものでもないんだということもわかりました。それから、諮問書では、市はこの委員会に対して意見を求めるという内容になっていて、委員会が諮問を受けて書き上げるわけでもない。基本的には行政が作るものだと思いますが、その関係について、もうちょっとはっきりさせた方がいい。</p> <p>9 ページ下段の図表について、第2期計画の3 ページに同種の図表がありますが、今回の説明はこの内容とは異なるものでした。今回は中間的で横断的だという説明でしたが、行政計画をまとめたものだとしてしまうと、地域福祉計画が、住民を主役にして協働の精神でやっていこうというときに、なじまないと思うんです。第2期計画の図は、生活課題や地域課題などさまざまな課題がある中の地域課題について、地域福祉計画でまとめていて、個別の行政計画が関連していくという図でした。今回示された図と先ほどの説明では、上から下ろすという形になり、先ほどの協働という考え方と首尾一貫しなくなってしまう。このような考え方とその示し方は問題なのではないかなと思いました。</p> <p>ここについては、特によく議論をした方がいいと思います。</p>
佐藤委員長	<p>成年後見制度について、市民一般にわかる表記のしかた、また、住民主体というところは、計画ありきではなく協働が進むような記述のしかたが必要だという意見がありました。</p> <p>ここで議論できればと思いますので、他の委員や事務局から、補足や関連意見はありますか。</p>
松尾委員	<p>成年後見制度について、私の家族もやろうとしました。母が手術後に意思疎通が困難になり、家族でもなれると知って、兄が成年後見人になれないか調べたんですが、</p>

	<p>書類も煩雑で、兄自身と家族やきょうだいの財産を公開しないといけないなど、とてもハードルが高かった。</p> <p>介護を受ける人なども増えており、制度の活用が必要となる人が増えると思います。もう少し、書き方、内容、事例などに触れて、わかりやすくなるよう検討していただきたいと思いました。</p> <p>9ページについては私もよくわかりませんでした。検討していくとか、意見を求めていくとか必要だと思います。</p> <p>終わりの方、42ページの文章を読んでも、主体が住民なのか誰なのか、よくわからなかった。この42～43ページの書き方は、検討が進めば変わっていくのではないかとはいえませんが、</p> <p>2019年3月に、男女共同参画の推進計画が出されました。私も関わりましたが、ここにはこの計画と類似するところも多いし、書き方なども参考になると思います。</p>
<p>事務局 (市)</p>	<p>成年後見制度の計画について、所管課ではなく、一体的に作っていくというところについては、所管外でもあり、この場では「分けます」とも申し上げられないところです。</p> <p>わかりやすい書き方や表記ということについては、今後留意して書きなおしてまいります。</p> <p>また、事前質問でもご指摘がありましたが、中核機関にはもう少し載せるべき項目があるのではないか、というご指摘について、さらに内容を充実させていくように、今後改良してまいります。</p> <p>そして、9ページの図に関しては、披田委員のご指摘の通りかと思えます。今回、佐伯係長の方で策定作業を進めていくにあたり、ただ前期計画をベースに積み上げるというわけではなく、1から作りなおしています。その過程において、前例踏襲すべき部分を変えてしまったミスタイクだと思います。この部分については、改めて検討しなおしたいと思います。</p>
<p>披田委員</p>	<p>9ページ後段はぜひ再検討してください。</p> <p>私は、最上位計画の策定審議会の委員でもあり議論に加わっているんですが、ここでは、地域福祉計画は他の個別行政計画と少し性格が違うけれども同じように並べる、それらを総括するものとして最上位計画がある、という形になるはずですが。</p> <p>第2期のこの図にしても、わかりやすいとはいえないんですが、苦勞して作った結果のものだと思います。</p> <p>ただ、地域福祉計画っていうのは何なのかというのは、今後もずっとついて回ることですから、それを行政計画として出すことの難しさ、悩ましさ、その過程をもう少し議論していったらいいと思います。</p> <p>成年後見制度についてに戻りますが、本当にこの計画に入れるのがいいんでしょうか。事前質問の回答では、8割の自治体がくっつけているということでしたが、積極的に進めていくというところまで行っていないからくっつけてしまえという感じで、安直な感じがします。</p>

	<p>それから、計画の構成は組み替えるという話ですが、なじまないというか、なぜここに組み入れるのか。付録ではないということなら、後ろに合冊という形もあり得ると思うんですが、法的根拠だけでなく、これからやろうとすることなどを考えると、別にしていた方が使いやすいと思います。</p> <p>健幸長寿課はここまでの間に検討しているのか、未成熟というよりおかしくなってしまっているという気がします。他の自治体がそうだったにしても、4ページ程度の簡単なものだったにしても、別に作った方がいいと思います。</p> <p>理解を深めて利用促進という趣旨から言えば、わかりやすく作ることになるだろうし、行政的な計画ならこれを書けば法的にはいいんだろうけど、事例の紹介や関連資料をつけたら、もっとページ数が増えて単独の冊子にできて広くいろいろな所で読んでもらえて、文字通り利用促進となるはずです。大きく言えば地域福祉と無関係ではないとは思いますが、この計画に無理に組み込まない方がいい。</p>
<p>事務局 (市)</p>	<p>地域福祉計画の根幹は、誰もが住み慣れた地域で支え合いながら暮らしていける世の中を作っていこう、ということで、困っている人を行政サービスにつなげるなどというのが基本にあります。先ほど地域福祉計画とのつながりという話がありましたが、認知症の方なども成年後見人をつければ地域で暮らし続けられる、この権利擁護の仕組みを広げていこうというところで、計画を策定せよという流れの中で、地域福祉計画の中に柱を立てて織り込んでいこうということにしました。現時点の素案では、やや唐突かなという感じですので、改善が必要だと考えています。</p> <p>載せ方については、考え方は計画の中で述べ、計画自体は後ろに付けるという方法も取れるかなと思いますので、検討したいと思います。</p>
<p>青山委員</p>	<p>民生委員をやっていた時にも感じたんですが、なじんでいる方もあるんですが、成年後見制度は使い勝手が悪いんです。成年後見制度とは別の家族信託という制度もあることを知っておいてほしいなと思います。</p>
<p>披田委員</p>	<p>社会福祉協議会の活動計画と一体的に策定することについて、私は事前に文書質問したところ、記述していくとの回答で、それはわかりました。しかし、そもそも社会福祉協議会は別の機関であり、一緒に作るというのは根本的に違うと思っています。</p> <p>そもそも社会福祉協議会はいったいどういう組織であって、地域福祉の中でどういう役割を持っているのか。市民の側からするとよくわからない。より住民に近いところで福祉を実践していく機関なんだろうと思います。代表である会長は市長が就いていて、同じ市町村に1つだけと法規定されているし、立ち上げの際に市が出資しているところから公的性質を持っているのは否定しませんが、基本的には民間団体なんですよね。市は社協に対して税金等を投入して福祉を担ってもらっていますが、どういう役割を期待しているのか。それから、市民から寄付を募り寄付者を「会員」として作っている民間の機関であるわけです。このように計画を一体的に作っていますが、この計画を作っている市と社協の2者の関係がこの素案を読んでもはっきりしない。市の取組をたくさん担っていて、第2の福祉事務所という感じがする。回答には（市と社協が一体的に策定することについて）言及するとあるけれど、</p>

	<p>どう言及するのかの議論が必要だと思います。</p> <p>地域福祉の実践にあたっては、社協がしっかりやれるかというのは重要事項ではないかと思っているので、ここはちょっとこだわっています。</p>
事務局 (社協)	<p>市も社協も、担う役割は違っても、地域福祉の推進に向かっていく思いは一緒ですので、その意味もあって一体的に策定しています。役割分担については素案の 42 ページにまとめてありますが、行政の法律や制度では賄いきれないものを地域の方々と一緒に課題解決していくというところを担うのが社協です。</p> <p>役割の記述については、今後検討を深めてまいりたいと思います。</p>
披田委員	<p>今の私の質問のポイントは、どう書けるのかというところだったんです。</p> <p>素案 42 ページの表について触れられました。この分類を見ると、民間の福祉事業者と社協は別の区分になっていますが、なぜわざわざ分けてあって、なぜ市と並んでいるのか、計画を作る機関として特別扱いするのか、そこのところ、どう説明がつくのか。社協は社協として、こういうことを実践していくんだと示す意味でも、実践することを並べた方がいい。市の計画と一体になることによって、あいまいになってしまっている。そこをきちんと記述してもらわないと、「社協は市と同じ」「第 2 の福祉事務所」という印象をぬぐえないと思います。ぜひ検討してください。</p>
稲川委員	<p>市は地域福祉計画を作って、社協は地域福祉活動計画を作るんですか。一緒になっているということなんでしょうか。</p>
事務局 (市)	<p>第 2 期計画では、市の地域福祉計画と社協の地域福祉活動計画を一体的に策定すると明記していて、それぞれの役割が書き分けられていました。</p> <p>ところが、今回の素案は両者の役割が書き分けられていないため、その点が不明瞭になってしまっていて、それが議論になっているところです。整理が難しいなら両者別々に策定するべきではないかというのが披田委員のご指摘で、事務局はそこのところを整理することが、今求められていると受け止めています。</p>
武田委員	<p>ここまで議論を聞いてきましたけど、半分以上理解できない。また、書類が多い。もう少し簡略化できないかなと。私は自営業でずっとやってきたので、どんぶり勘定でした。そういう立場からすると、書きすぎているように感じる。役員会で、書類が届いたので読みたい方はどうぞと言ったんですけど、誰も手を挙げませんでした。分厚いし面倒だし、市にお任せという感じ。だから簡単なというか、わかりやすい言葉・易しい言葉で。カタカナ語も、難しい言葉は使わず一般的な言葉に限ってほしい。</p> <p>我が家の近くに社協の中央支所ができたので、わからないことがあったら全部聞いて教えてもらっています。ですから、この委員会のことを聞かれて、何やってるの？と聞かれても、説明できない。私にしてみれば、社会福祉課も社会福祉協議会も同じ。</p> <p>そして、字を大きくしてほしい。老眼鏡をかけていると、今呼んでくれた説明についていけない。職員の方は一人ひとりの意見をすべて取り入れてはやってられないと思いますが、もう少し簡単に書いていただけないものかなという、希望です。質問をいっぱいしている方もいますが、私は聞いていてそのように感じましたので、考慮していただければ。</p>

	<p>たくさん質問をされている方はいろんなことを把握できているんだろうと思います。でないと質問できませんから。できれば、こういう冊子を作るときに、何人かの委員に入っていて、ここをもっとわかりやすく、みたいに意見を入れたらどうかと思うんですが、どうなんですか。</p>
披田委員	<p>研究会といった分科会を設けて、そこで議論したり意見をもらったりということはあります。</p>
佐藤委員長	<p>たしかに、地域の皆さんの福祉計画ですので、皆さんに使っていただくためには、皆さんが使いやすい計画でなければならないと思います。</p>
遠田委員	<p>第2期計画でも委員として関わっていました。</p> <p>今回の計画策定にあたり、基本理念を変えるという話がありました。</p> <p>これまでの議論の中でも、「支え合い」という言葉が出てきました。地域福祉を語るときに必ず出てくる言葉ですが、この言葉は「機構的」「建策的」だと思っているんです。何かと何かをなければ成り立たない。これを前提と考えているのであれば、第2期から第3期に移っていく間に、この機構が壊れつつある、バランスが崩れている、というような危機感が、事務局の方の背景にはあるような感じがするんです。本当はこういう支え方をしてほしいけど人員が足りないとか、日々の業務の中で感じている危機感のようなものが背景にあるのだろうと感じました。</p> <p>地域を英語で言うとコミュニティですが、コミュニティとかコミュニケーションに共通する基になったラテン語の言葉の意味は、支え合うではなく「分かち持つ」です。第2期計画の理念には、ささえあいのほか、やさしい、ふれあい、という言葉が出てきますが、それは支えあいのほかにこの「分かち合い」という考え方をイメージしていたんです。第2期計画には、第1期や第2期の策定時のメンバーの考え方が反映されていたと感じていました。今回はフルモデルチェンジのようになっており、当時の分かち合いという考え方が消えてしまったような気がして、事前質問しました。当時は、支え合いという機構的な部分もありつつ、優しさやぬくもりなど感性に訴える部分も入れながら作っていました。その中であって今回の素案を見たら、機構的な方向に大きくシフトしていると感じましたし、その背景には先ほどもお話ししたように、機構的な部分でパーツが足りないというような危機感があるのではないかと、じゃあ強い柱を立てればいいと発想したのではないかとこのように推察しました。</p>
事務局 (市)	<p>地域福祉という言葉で示される範囲のものを広く集めて、1冊の計画に取りまとめていくにあたって、現在の様々な地域課題のどの部分に注目すべきか、キーワードから分けていった結果が、今回の素案です。一度ゼロベースで考えて、全体を見渡して組み上げたいという思いはありました。ただ、この組み替えがこれまでの計画を無視しているのではないかとと言われるかもしれませんが、そのようなつもりはありません。そのように見える計画になってしまっているということなら過去の計画に関わった方々に対する冒とくと受け取られかねないと思います。ただし、先ほど申し上げたような思いで組み上げたということはきちんとお伝えしなければならないと思います。自分が中心となって考え、進めていき、いろいろなアドバイスをいただきな</p>

	<p>がら、また他の計画も参考にしながら組み上げました。</p> <p>機構的だというお話について、明示的に書いたつもりはありませんでしたが、現状をどうにかしてほしいという声が聞こえてくると、そちらに引っ張られてしまった部分もあるかもしれません。少し乱暴でも、これまで前提としていたことが本当に前提でいいのか、疑ってみる必要はあると考えるようにしていますが、それが悪く働いたところがあったと言わざるを得ません。組み方、思いの込め方、そしてわかりやすさ。伝わらなければ仕方がないので、今までいただいたご意見を参考に、そういったことに留意しながら改めていきたいと思えます。</p>
事務局 (市)	<p>市では最上位計画を作っていますけれど、その中でも、誰もが住み慣れた地域で支え合いながら暮らしていく、ということが書かれています。</p> <p>危機感という話が出ましたが、行政の人間はみな危機感を持っていると思えます。家族の考え方が、昭和のころと大きく変わっていています。夫婦と子供2人という世帯よりも、今は単身世帯の方が上回っています。結婚をしない人が増え、地域を支える担い手となる人も減っているというような状況です。そのため、いろいろなことを考え直さなければならない状況にきています。</p> <p>みんな地域に住んでいますから、問題も地域から起こってくるわけです。なので、地域を主体にして、皆さんが支え合いながら、必要なサービスにつながりながら、そこで生きがいを持って幸せに暮らしていける、というのが大切ではないか、との思いがあります。</p> <p>今回ご提案したスローガンでは、支え合いという言葉がなくなってしまっていますけれども、まだ考え直せますので、ご意見をもとにいくつか候補を挙げながら皆さんで決めていくのもいいのかなと思いました。</p>
佐藤委員長	<p>よろしいでしょうか。それでは、「龍ヶ崎市第3期地域福祉計画（素案）について」は以上とします。事務局は本日の意見を参考に策定を進めていただきたいと思います。</p> <p>以上で本日の議事は終了いたしました。皆様ご協力ありがとうございました。</p>
<p>< 議 事 終 了 ></p>	
<p>令和4年6月24日に行われた会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: right;">委 員 長 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録署名人 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録署名人 _____</p>	